

平成27年度事業計画

平成26年度は、ARアプリを導入した情報発信の拡充・強化や冬期間の観光客の入込増を図るための旅行商品造成支援のほか、教育旅行の誘致促進等を重点事項に関連事業に取り組んできたところである。

平成27年度は、選ばれる観光地づくりに向けた取組みや、平成28年に開催される希望郷いわて国体・希望郷いわて大会に向けた受入態勢の強化が重要な課題であるとの認識のもと、これまでの取組みの成果を生かし、ICTを活用した情報発信の強化を進めるほか、いわて観光キャンペーン推進協議会等と連携した秋冬期の誘客活動を強化するとともに、教育旅行については、3月14日の北陸新幹線の開業をチャンスと捉え、新たな市場の開拓に向けた調査に着手する。

また、国際観光の分野においては、本県を訪れる外国人観光客の大半を占める台湾市場を中心に受入態勢を強化することに加え、台湾に次ぐ市場の開拓に向け、県と連携しながら市場ごとに目的を絞った誘客に取り組むものとする。

さらに、国が創設した地方創生のための交付金を財源とした県における新たな観光関連施策については、県と役割分担をしながら関連事業の円滑な実施に努める。

なお、事業推進に当たっては、社会経済情勢の変化や観光関連産業の動き、国の観光施策や外部資金の導入等に機敏に対応しながら、取組みの重点化、効率化を図りつつ、効果的な執行に努めるものとする。

こうした基本的認識に立って、県、市町村、市町村観光協会、観光関係団体、民間企業等と緊密に連携し、以下の重点事項を中心に事業を展開することとする。

1 情報発信

情報発信を強化するため、県と連携しながらいわての観光のポータルサイトである「いわての旅」の日本語及び外国語版のスマートフォン向けサイトを構築するほか、平成26年度に動画による情報発信を行うために導入したARアプリを賛助会員と共同利用できる仕組みを整え、本県の多様な観光資源やタイムリーな情報を発信する機能を強化する。

2 国内誘客対策

国内誘客対策の柱の一つである教育旅行の誘致を促進するため、震災や防災に関する学習プログラムに加え、いわての豊かな地域資源を生かした体験メニューの掘り起しやブラッシュアップにより、魅力ある教育旅行体験メニューの開発に努めるとともに、北海道2都市及び東京都並びに大阪府内において誘致説明会を開催し、新たな誘客促進エリアとして可能性のある地域の市場開拓に向けた調査に着手し、教育旅行の誘致拡大を図る。

3 受入態勢整備

平成 28 年に開催される希望郷いわて国体・希望郷いわて大会に向け、受入態勢の一層の強化を図るため、接遇研修の開催やボランティアガイドの育成を図り、新たに「いわて観光おもてなしマイスター」を派遣する出前接遇研修会を開催するとともに、観光産業の経営改善や生産性の向上に取り組む人材育成を図る。

4 国際観光推進

昨年、初めて春と秋に定期チャーター便が運航され、着実に増加している台湾からの観光客の受入態勢を整備するため、台湾における観光 PR に参加するほか、台湾から旅行業に携わる専門家を招請し、施設や地域の状況について指導助言をいただき、受入態勢の向上を図るとともに、台湾における情報発信を強化するため、繁体字版 FB（フェイスブック）において県内のタイムリーな観光情報を発信する。

5 連携・支援

県や関係機関と連携しながら、県内外の観光 PR に参加し、いわての情報発信に努めるほか、選ばれる観光地づくりのため、観光関係事業者の組織する団体等が行う、地域の資源を活用した特色ある観光地づくりに向けた取組みを支援する。

I 【情報発信】

1 観光情報高度化推進事業

(1) 観光情報高度化推進事業

岩手県観光ポータルサイト「いわての旅」に、県と連携しながら日本語版及び外国語版のスマートフォン向けサイトを構築し情報発信の強化を図るほか、平成 26 年度に構築した AR アプリを賛助会員と共同利用できる仕組みを整えることにより、観光情報の発信力を強化する。

(2) 観光情報システム分担金事業

(公社) 日本観光振興協会が実施する「全国観光情報データベース」の整備・運用に対し、観光情報システム分担金を拠出する。

2 パブリシティ有効活用事業

首都圏、近県等をターゲットに、地域情報誌、旅行雑誌等を活用して観光情報の発信を行い、一層の誘客を促進する。

3 観光宣伝媒体作成事業

全県的かつ基礎的な観光資料である「岩手県観光案内図（いわて旅地図）」の改訂版を作成し配布する。

4 観光キャラクター活用事業

岩手県の PR キャラクター「わんこきょうだい」を活用したグッズを作製して頒布し、本県のイメージアップ、認知度の向上を図り、誘客拡大に資する。

II 【国内誘客対策】

1 観光客誘致促進事業

(1) 観光客誘致説明会

首都圏誘客対策として東京都、航空路線の増便等に伴う中部圏誘客対策として愛知県において、旅行会社の造成担当者等を対象とした観光客誘致説明会を開催する。

(2) エージェント招待事業

首都圏等の旅行会社の造成担当者の本県に招待し、県内観光地の視察の機会を提供することにより、新たな観光資源の発掘、旅行商品化を働きかける。

2 教育旅行誘致促進事業

教育旅行の誘致拡大を図るため、札幌市、函館市、東京都及び大阪府において、旅行会社の修学旅行担当者及び中学校等の担当教諭を対象とする誘致説明会及び商談会を開催するほか、前年に立ち上げた教育旅行誘致宣伝部会首都圏支部等による学校訪問活動、新たな市場の開拓に向けた調査に着手する。

3 旅行商品造成事業

県外観光客の誘客を促進するため、特に秋冬期における旅行商品の造成に対して支援する。

Ⅲ 【受入態勢整備】

1 いわての観光サポート事業

(1) 「いわて観光おもてなしセンター」管理運営

協会内に設置した「いわて観光おもてなしセンター」において、来訪による観光相談、電話及び電子メール等で寄せられる観光情報提供依頼等に対応する。

(2) 「V」案内所運営等観光情報提供事業

協会内に設置した「V」案内所において、外国人旅行者に対して観光情報を提供するとともに、国内旅行者に対しても観光情報を提供する。

2 北東北観光センター運営

盛岡駅にある観光案内所の運営経費の一部を助成し、本県を訪れる観光客に対して観光情報の提供、観光相談等を行う。

3 観光土産品改善事業

観光土産品の品質向上を図るため、観光土産品の推奨審査を実施し、優良観光土産品の推奨を行うとともに、優良観光土産品に対して推奨シールを頒布する。

4 ボランティアガイド育成事業

観光ボランティアガイドの資質の向上と相互の連携を目的に設立した「岩手県観光ボランティアガイド連絡協議会」に対して支援を行う。

5 観光業務優良従事者表彰

観光業務に従事する職員の意欲の高揚と資質の向上を図るため、各団体より他の模範とするに足りると認められて推薦された方々を「いわて観光の日」事業において表彰を行う。

6 「おもてなしの心」向上研修事業

平成28年に開催される希望郷いわて国体・希望郷いわて大会に向け、本県の「おもてなし」の向上を図るため、「いわて観光おもてなしマイスター」のレベルアップ研修会を兼ねる宿泊、観光及び土産品販売の施設従事者や観光関係団体の職員等を対象とした研修会を開催するとともに、おもてなしマイスターを地域に派遣する出前接遇研修会を開催する。

7 「観光の日」事業

岩手県が制定した「いわて観光の日」（5月16日）に合わせて、県民の観光に対する意識啓発活動の一環として、観光業務優良従事者表彰、記念講演等の記念事業を行い、気運の醸成を図る。

8 観光産業人材育成等支援事業

(1) おもてなし経営研修事業

観光関連事業者のおもてなしの向上や経営革新を支援するため、国が選出する「おもてなし経営企業」の経営者等を講師としたセミナーを開催する。

(2) トヨタ生産方式によるコンサルテーション事業

観光関連事業者の経営革新を支援するため、業務効率の改善や社員の能力向上を目指し、トヨタ生産方式に基づいた現地指導事業を実施する。

IV 【国際観光推進】

1 外国人観光客誘致宣伝事業

台湾において開催される「ITF2015」に県とともに参加し、本県観光の周知宣伝を図るとともに、旅行会社及び航空会社への商談活動を行うほか、県が実施する観光ミッション団等に職員を派遣し、各種観光情報の発信を行う。

2 外国人観光客受入態勢整備事業

(1) 国際チャーター便歓迎行事等

いわて花巻空港を利用する台湾等の国際チャーター便の歓送迎行事を実施し、本県の外国人観光客の誘致を促進する。

(2) 「V」案内所運営（北東北観光センター）

盛岡駅構内の「V」案内所の運営経費の一部を負担し、本県を訪れる観光客に対して観光情報の提供、観光相談等を行う。

(3) 台湾観光客受入態勢整備事業

観光地や観光施設等の受入態勢に関して助言や指導を受けるため、台湾から旅行AGTの社員等の専門家を招請する。

3 北東北三県・北海道ソウル事務所管理運営

北東北三県及び北海道が共同で設置する北東北三県・北海道ソウル事務所の管理運営を岩手県から受託し、韓国からの観光客の誘致促進のために観光商談会に参加するほか、4道県が連携して実施する事業に対して、支援、協力する。

4 台湾情報発信機能強化事業

台湾から、より一層の誘客を促進するため、インターネット（FBなどSNSを含む。）を活用して本県の観光情報の発信を行う。

V 【連携・支援】

1 各種キャンペーン支援事業

(1) いわて観光キャンペーン推進費

いわて観光キャンペーン推進協議会への負担金を支出するとともに、同協議会が実施する各種イベントやキャラバン等に職員を派遣し、各種観光情報の発信を行うなど

同協議会が行う活動を支援、協力する。

(2) いわてウインターリゾート協議会事業

冬季におけるスキー客等の誘客を図るため、いわてウインターリゾート協議会とタイアップして広域キャンペーンを展開する。

(3) 各種キャンペーン支援事業

首都圏等において、広域観光推進団体等が実施する広域観光キャンペーンの活動を支援するほか、各種イベントに職員を派遣し各種観光情報の発信を行う等、支援・協力する。

2 魅力ある観光地づくり支援事業

地域の観光事業者が主体となって行う、地域の資源を活用した特色のある観光地づくりを支援する。

3 県外事務所観光振興支援事業

岩手県の各県外事務所が実施する観光客誘致のための各種事業に対して支援する。

4 (公社) 日本観光振興協会への拠出金

(公社) 日本観光振興協会に全国広域観光振興事業に係る拠出金を拠出する。

5 東北観光推進機構事業

東北七県による広域観光の推進を図るため、東北観光推進機構に負担金を拠出する。

6 北東北三県観光立県推進協議会事業

北東北三県による国内観光等の推進を図るため、北東北三県観光立県推進協議会に負担金を拠出する。

7 観光宣伝事業等負担

岩手県空港利用促進協議会等の観光関係団体等に対して負担金を支出する。

【その他】

- 1 観光関連団体との連携を一層強化するとともに、当該団体が主催する各種イベントやMICEの誘致等の実施に対して積極的に支援、協力する。
- 2 国際リニアコライダー（ILC）の実現に向けて、観光面から連携・協力する。
- 3 前年に引き続き、いわて希望ファンドの一層の活用など外部資金の導入に努める。